

「老守通信」2015年4月号（通年第118号）

あおぞら八重垣園長 伊藤 幸枝 発行

10周年を迎えて

あおぞら八重垣は、3月20日をもちまして、開設より10周年を迎えました。この間、入園者様、ご家族様からお寄せいただいた、親身のご意見、ご苦情に心から感謝いたします。今後ともかわらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

来る5月17日（日曜日）には、10周年記念式典、催し物を計画させていただきました。記念式典では鹿島病院院長 清水保孝先生をお招きし、講演をいただきます。午後の催し物では、クラリネット(三島正巳様)を中心としたチンドン屋さん、草月流華展、抽選会、食品販売等を企画しておりますので、ご家族様、是非ご参加くださいますようお願いいたします。職員一同お待ちしております。

入居一時金について

平成24年4月の老人福祉法改正により、本年4月1日から入居一時金の規制が強化され、想定居住期間を勘案した算定根拠に基づき算定することが義務付けられました。

法定の算定根拠に基づき入居一時金を計算しますと200万円を超え、入園時の負担が増えることは確実です。

検討を繰り返しました結果、4月1日以降の入居一時金については、廃止することを決定致しました。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

新管理部体制

本館新館にて、新たに、医務及び機能訓練の管理を行う“診療部長”を配置いたしました。医務室、機能訓練室の連携を深め、より一層充実した医療ケアを提供してまいります。

また、大野栄美子の離職にともない、本館新館2階の介護部長も新任いたしましたので以下の通りお知らせいたします。

診療部長 辰巳 克馬 （理学療法士）

看護師と連携して、医務室と機能訓練室の部長職に就きます。

介護部長 中倉 有里 （介護福祉士）

本館、新館2階の介護部の部長職に就きます。

大野栄美子には、3年間という短い間でありましたが、介護部長、教育部長、ケアマネージャーとして、あおぞら八重垣に貢献していただきました。有難うございました。

新人職員

新年度を迎え、9名の新人職員が入社しました。3月に新人研修を終え、4月1日よりそれぞれの部署に配属となりました。よろしくお願いいたします。

お花見

あおぞら八重垣の本館駐車場の桜も満開を迎えています。毎年恒例となりました、お花見のドライブ。今年も入園者の皆さまと玉湯の史跡公園までお出かけしています。週の初めは肌寒く、天気予報では、寒の戻りなどと報じられていましたが、日に日に青空が目立つようになり、過ごしやすいつ春の陽射しの中、皆様楽しんでおられました。